

令和5年度 須賀川市立白江小学校 学校経営・運営ビジョン

学校の強み・弱み

- 児童が真面目で素直
- 異学年の仲がよい
- 生徒指導面で落ち着いている
- 児童が少なく目が届きやすい
- 教育環境・施設の充実
- 主体的な学習態度と学力向上
- 競い合いが乏しい
- 「内弁慶」の傾向
- PTA活動の推進
- 地域における多様な活動の機会が少ない

学校教育目標

- 主体的・協同的に学び、
豊かな心でたくましく生きぬく子どもの育成
- ◎ 自ら学び、考え、行動する子ども(知性)
 - ◎ やさしく、思いやりのある子ども(敬愛)
 - ◎ 健康で、たくましい子ども(健康)

これからの学校教育

- 学校段階を見通した確かな資質・能力の育成
- 課題を主体的に、多様な他者と協力して解決する力の育成
- 個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへの変革
- 教職員の働き方改革と研修の充実による学校の力の最大化
- 共生社会の形成に向けた特別支援教育の充実
- 学校と地域の連携・協働の推進

「やりたい」を明らかにし、実現する児童

- 夢、モデルをもち、「こうなりたい」という未来の自分を思い描く児童
- 自分の思いや願い、他者の思いや願いの大事にした合意形成ができる児童
- やりたいことをやれる資質・能力と体力のある心身健康な体をもつ児童
- 自己マネジメント力のある児童

目指す学校像

「やりたい」がつながる学校

- 子どもも教師も「やりたいこと」がある学校
- 子どもも教師も「やりたいこと」ができる学校
- 子どもも教師も「やりたいこと」を認め合う学校

「やりたい」を引き出し、つなげる教師

- 児童に寄り添い、キャリア・カウンセリングで児童の思いを引き出せる教師
- 自己理解力、自己肯定感、自己有用感を育てられる教師
- 児童と自分自身の向上を目指して学び続けられる教師
- 心身ともに健康で、情熱や意欲をもつ教師
- 人と関わり、コミュニケーションを大事にしながら協働できる教師

学校課題研究

一人残らず夢中になって学ぶことのできる授業の実現

努力目標

【知性】自己・他者・社会と向き合い、主体的に学ぶことができる児童の育成 実践事項

- 1 学ぶ権利を保障し、夢中になって学ぶ授業の実現
 - ・課題や目標、知的好奇心を持つことができる学習の設定
 - ・校内研修(授業研究)の充実と外部講師の招聘
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・育てる資質・能力を明確にした授業の実現
 - ・画一的な一方通行の授業等から個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへの変革
- 3 保護者と連携した家庭学習の定着と充実
 - ・「〇年生の家庭学習」「家庭学習スタンダード」の活用
- 4 読書活動の充実
 - ・読書タイムの充実、家庭での読書の奨励
- 5 小中一貫教育の推進
 - ・「岩瀬の学び」をもとにした学習の仕方の定着
 - ・白方小・岩瀬中との交流の充実

達成基準

- 1 教職員の授業研究年15回
- 2 (学校評価)「授業がわかる」80%
- 3 家庭学習「学年×10分」の実施率 90%
- 4 年間読書冊数 低80冊、中50冊、高30冊達成率 100%
- 5「岩瀬の学び振り返りシート」定着率80%

【敬愛】多様な他者や考え、価値観を受け止め、互いに連携・協働する児童の育成 実践事項

- 1 思いやりの心のさらなる育成
 - ・友達や自分の「よさ」に気づく、「ちがひ」を大切にする道徳や特活の充実
 - ・話し合い、発表、プレゼン等の学習活動を通したコミュニケーション能力育成
 - ・地域や社会に目を向け自分事としてとらえる感性を高める学習の充実
- 2 あいさつや返事などの基本的生活習慣の定着
 - ・「先にあいさつ」の奨励
 - ・時と場に応じた「返事」「言葉づかい」の指導
- 3 インクルーシブ教育を踏まえた特別支援教育の充実
 - ・多様な学びの場や交流の充実と合理的配慮の実施
 - ・個別的教育支援計画及び個別の指導計画の活用や引継ぎ
- 4 保護者や地域住民来校の機会の充実
 - ・学校支援ボランティアの募集
 - ・学習活動への保護者や地域の方の協力
- 5 教育相談の充実
 - ・児童も保護者も相談しやすい教育相談の体制づくり
 - ・いじめや不登校、虐待など困り感のある児童への早期発見と早期対応

達成基準

- 1 (学校評価)「相手の気持ちを考えて行動」80%
- 2 (学校評価)「進んであいさつする」80%
- 3 個別的教育支援計画・指導計画整備 100%
- 4 (学校評価)「家庭と学校の連携」80%
- 5 (学校評価)「学校が楽しい」80%

【健康】やりたいことを最後までやりぬくことができる心身ともに健康な児童の育成 実践事項

- 1 「やりたい」を引き出し、やりとげさせることを通して育む自己肯定感
 - ・児童のアイデアを生かした集会活動、特別活動等
 - ・適切な機会をとらえたキャリアパスポートの記入と活用
- 2 児童一人一人が自己目標を設定した体力の向上
 - ・体力アップタイム(毎週火・木)の充実
 - ・体力向上計画に基づいた重点指導内容の確実な実施
- 3 健康や安全に関する基本的知識と習慣の定着
 - ・早寝早起き朝ごはんの推進
 - ・望ましい運動習慣や食習慣への理解を深める(自分手帳の活用)
 - ・省メディア・デジタルシティズンシップ教育の推進と啓発
 - ・「With コロナ」時代を生きる、自他の健康を守る生活習慣の定着
 - ・災害、事件・事故にあわないよう行動できる能力の育成や意識の向上

達成基準

- 1 (学習カード)「自己目標に向かってがんばることができた」75%
- 2 (体力テスト)前年度より伸びた児童の割合 100%
- 3 (学校評価)「省メディアを達成」児童・保護者70%

児童の安全・安心

- ・生徒指導の充実
- ・適切な学校管理

幼小中連携

- ・中学校区共通実践
- ・こまめな情報交換と各種合同会議

地域との連携

- ・学校評議員会の充実
- ・総合学習を核とした地域教材の掘り起こし

保護者との共通理解と協働

- ・ポータルサイトや学校だより等での情報発信
- ・PTA活動の推進

信頼される教職員

- ・服務倫理の充実
- ・風通しの良い職場づくり

教職員の働き方改革

- ・校務分掌における業務分担の適正化
- ・FCSの活用

教職員のメンタルヘルス

- ・良好な職場環境・人間関係づくり
- ・相談窓口の設置と周知

実践を支える基盤